

広島市こども文化科学館指定管理者の業務実施状況（平成28年度）の概要・評価

1 施設名及び指定管理者等

(1) 施設名及び所在地	広島市こども文化科学館（広島市中区基町5番83号）
(2) 指定管理者等 （非公募により選定）	(1) 名称及び所在地 公益財団法人広島市文化財団 （広島市中区加古町4番17号） (2) 指定期間 平成26年4月1日～平成30年3月31日 (3) 指定管理料の限度額（4年間分） 6億9,304万9千円

2 実地調査の実施状況

区分	内容
実施年月日	平成29年3月8日（水）
実施内容	業務実施状況の確認、職員へのヒアリングを行った。

3 業務の実施状況

平成28年度の状況		市の評価
(1) 管理業務の実施状況		
ア 市民の平等利用の確保策の実施状況 (ア) 広島市こども文化科学館条例等関係法令を遵守し、理由もなく市民の施設利用を拒んだり、不当な取扱いが生じないよう、研修等により、職員に周知徹底を図り、市民の誰もが平等に利用できるように対応している。 (イ) 施設の利用案内等の情報をホームページ等により提供している。		○
イ 事業の実施状況 次の事業を主に実施している。 (ア) プラネタリウム（「一般投影」「星空投影」「幼児向け（七夕）投影」「夏休み特別投影」等の番組制作、投影及び解説） (イ) 企画展示（「ピカッと発見！電気のつくり方」、「月のふしぎ」、「青少年のための科学の祭典」、「児童生徒発明くふう展」、「科学研究作品展」等） (ウ) 常設展示（子どもたちを対象とした科学に関する展示） (エ) 教室事業（科学教室、創作教室、ワークショップ楽しい工作室、サイエンスショー等） (オ) ホール事業（こども音楽会、こども劇場） (カ) グループ活動支援（プラネタリウムクラブ、広島少年少女発明クラブ、アマチュア無線クラブ）		○
ウ 維持管理業務等の実施状況 (ア) 次の業務を実施している。 a こども文化科学館への入館の制限に関すること。 b こども文化科学館の施設及び設備の維持管理に関すること。 c その他教育委員会が定める業務 (イ) 特記事項 建築設備の保守点検等を適正に実施した結果、トイレ設備等の不良があったが、速やかに修繕を行った。		○

平成28年度の状況				市の評価
(2) 指定管理料等の収支状況				○
ア 平成28年度の状況				
区分	計画 (ア)	実績 (イ)	差引 (イ) - (ア)	
収入 (a)	1億6,865万4千円	1億8,289万8千円	1,424万4千円	
指定管理料	1億5,784万7千円	1億5,784万7千円	0千円	
利用料金	950万7千円	1,465万5千円	514万8千円	
その他	130万円 前年度繰越金(0千円) 民間等補助金収入(50万円) 雑入金(80万円)	1,039万6千円 前年度繰越金(414万3千円) 民間等補助金収入(0千円) 雑入金(625万3千円)	909万6千円 前年度繰越金(414万3千円) 民間等補助金収入(△50万円) 雑入金(545万3千円)	
支出 (b)	1億6,865万4千円	1億8,289万8千円	1,424万4千円	
差引 (a) - (b)	0千円	0千円	0千円	
イ 特記事項 指定管理料と利用料金等の合計では賄えない支出については、前年度繰越金及び同じ指定管理者が管理する施設からの繰入金等により対応しており、運営に支障は生じていない。				
(3) その他				
ア 利用者ニーズの把握及びそれを踏まえた管理運営の実施状況（指定管理者によるアンケートの実施等） 企画展、教室事業においてアンケート調査を実施するとともに、常設のアンケートボックスを設置し、利用者ニーズを踏まえた事業・管理運営ができるように努めている。				○
イ 個人情報保護への対応状況 個人情報保護規程、個人情報保護取扱要領及び個人情報取扱マニュアルを作成し、職員への周知徹底を図ることにより適切に対応している。				○
ウ 情報公開の実施状況 情報公開規程及び情報公開実施要領を作成し、職員への周知徹底を図ることにより適切に対応している。				○
エ 緊急事態、不法行為等への対応状況（防災、防犯などの安全対策を含む。） 自衛消防隊を組織するほか、安全対策マニュアルを作成し、職員への周知徹底を図ることにより、利用者の安全対策や緊急事態への適切な対応を行っている。				○
オ 苦情・要望への対応状況 「苦情対応マニュアル」を作成し、職員への周知徹底を図ることにより適切に対応している。 (今年度は苦情等該当なし)				○
カ 配置人員及び職員研修の実施状況等 (ア) 配置人員（4月1日現在） 15人（うち専門職員である学芸員（必置）及び教員経験者13人） (イ) 職員研修の実施状況 接遇研修、救命講習会、倫理研修、福祉研修、全国プラネタリウム研修、日本プラネタリウム協議会中四国地域ワーキンググループ研修会等 (ウ) 労働基準法等の遵守状況 雇用契約、賃金計算、労働時間管理について、適正に実施しており、また、最低賃金額を順守している。				○
キ 自己評価の実施状況 評価基準を作成し、教室事業や企画展、年間を通じたアンケート調査を実施し、それに基づき自己評価を実施している。				○
業務の実施状況の評価				A

4 施設の利用状況

平成28年度の状況				市の評価	特記事項
ア 利用者数等				A	
目標利用者数 (ア)	利用者数実績 (イ)	差引 (イ)-(ア)	達成率 (イ)/(ア)		
47万9,000人	50万7,855人	2万8,855人	106.0%		
※ 前年度実績 49万5,565人 (増減率2.5%) ※ 参考：その他の利用者数等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 館外事業利用者数 42人 ・ ホームページ閲覧件数 30万2,390件 					
イ 利用促進策等の実施状況					
(ア) 広報の充実(広報紙「広島市こども文化科学館だより」の作成、関係団体への働きかけ、マスコミへの情報提供等)					
(イ) 指定管理者の提案による取組					
a 開館日の拡大					
8月6日に開館					
b 開館時間の延長					
開館時間を2時間から3時間程度延長して天体観望会の事業を実施している。					
c 利用料金の設定					
(a) 「大人もこどもになる日」					
プラネタリウムの親子での利用促進を図るため、第2土曜日(祝日等を除く)は大人の通常料金を半額としている。					
(b) リフレタリウム					
プラネタリウムの利用促進を図るため、昼休みの時間を活用した短時間のリラクゼーション投影において割引料金を設定している。					

5 利用者の満足度

アンケート調査の実施結果等	市の評価	特記事項
市と指定管理者が共同で実施したアンケート調査結果(標本数2,014件)では、サービス内容などの満足度については、満足が95.8%、不満が1.0%であった。	A	

6 評価

区分	市の評価	特記事項
評価(5段階評価)	5	平成27年度に投影機のデジタル化等プラネタリウムのリニューアルを実施し、利用者サービスの向上を図ったことや、親しみやすく時宜を得た題材を取り入れたプラネタリウム番組の制作・投影及び観覧料の割引などの利用促進策を実施した結果、目標入館者数を上回っている。 また、アンケートによる市民の満足度も高く、今後も引き続き適切な管理運営を行うよう指示した。
業務の実施状況	A	
施設の利用状況	A	
利用者の満足度	A	